



7月園だより

令和7年7月1日
目黒区立原町保育園園長

今年の梅雨はどうしたのでしょうか。梅雨入りしたと思ったら夏日が続いたり四季を楽しめなくなっていることを感じます。そんな中ですが、暑さが厳しくなる前の時期に園庭では泥んこ遊びを楽しんでいます。裸足になって園庭に出ていく1歳児たちの中テラスに残った子がいました。「どろんこ行かないの？」の問いかけに首を横に振ります。しばし、その子の横に座り目線を追ってみました。2階から降りてくるクラスの子どもたちを指さしたり、夏野菜のプランターを見たりと観察しています。見渡した頃に「先生どこにいるかな？」と聞くとちゃんと砂場を指さして知らせてくれて、丁度そのタイミングで担任が手を振ってくれました。無言ではありますが担任と繋がる関係性が見えました。そこで「園長先生とお砂場行こうか？」と誘うとその気になったようで手をつなぎ裸足で地面に降りました。地面を踏んだ瞬間ザラッとした感触に「へへ」と笑い声が漏れて顔を見合わせました。その後無事に砂場まで辿り着き遊び始めました。子どもたちの行動には何らかの意味があります。その気持ちを探るに時間が必要な時もありますが、寄り添えた時に共感したと思えます。そんな瞬間の積み重ねを大切にしていきたいと思います。

5. 6月のクラス懇談会では、ご家庭でのお子さんの様子や保護者の方の思いを伺うことができ有意義な時間となりました。お忙しい中ご出席ありがとうございました。



プール開き
七夕会
笹焼き
中旬 避難訓練・身体計測



～保育中のつぶやきエピソード～



「うみのいきもの」の本を保育士と子ども数名で読んでいた時のことです。

「マンボウ見たい」と話すA児に対してB児が「マンゴー飲んだことあるよ!」と話していました。保育士が「ジュースじゃなくてお魚の話だよ」と伝えるとB児が恥ずかしそうに照れていました。その様子が可愛らしかったです。

さくら組（3歳児クラス）



庭に遊びに来ていたすずめを見て保育士が「どこから来たんだろう?」とつぶやくと「すずめのお宿からだよ!」と子どもが言っていました。すずめのお宿に散歩に行ったばかりで、どうやらそれを思い出して教えてくれたようです。

ぽぷら組（4歳児クラス）





今好きな遊び ～3・4・5 歳児クラス～



3 歳児クラス 『絵あわせゲーム』

さくら組では絵あわせゲームを楽しんでいます。以前は保育士と一緒に遊んでいましたが、今では2、3人の友達同士で楽しむ姿が見られるようになってきました。

ジャンケンで順番を決める場面では「グーとチョキはグーの勝ちだよ。だってグーは石だもん」とジャンケンの仕組みを友達に教えようとして、ゲームで同じ絵が揃うと「揃ったね！もう一回やってもいいんだよ」とルールを教えたりと、ひとつの遊びの中で様々な友達とのやりとりの声が聞こえてきます。簡単なルールのある遊びを通して、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知り、友達との関わりが更に増えてきた子どもたちです。



4 歳児クラス 『折り紙あそび』

ほぷら組では今、折り紙遊びを楽しむ姿が増えてきています。保育室に犬や猫、うさぎや手裏剣の折り方がわかる本を置くと早速広げて「これが折ってみたい！」と遊び始める子どもたちです。はじめは保育士が折って見せながら、「こう？」と1つずつ折り方を確認していましたが、何度も折っていくうちに折り方を覚えて



今では折れるようになった子が「こうだよ！」と友達に教えてくれる場面もでてきました。うさぎや猫を折ると今度はクレヨンで目や耳を好きな色で塗ったり、体を作って糊で貼るなど、制作遊びも広がり「かわいい顔できた！」と作る面白さを味わいながら楽しんでいます。



5 歳児クラス 『はしごからの～とうきょうたわー！』

くすのき組ではあやとりが大流行中です。最初は大人と一緒に始め、だんだんと絵本を見ながら自分一人で挑戦していく姿になってきました。紐をどの指にかけて、外すかよく見ながら遊んでいます。友達がやっていると「この指は外して～こっちにかける」「そうそういい感じ！」などと言葉かけをしている姿がほほえましいです。はしごのやり方を伝え合っているうちに、紐の一本を友達に引っ張って貰うと東京タワーに変化して二人で一緒にあやとりをする面白さを味わっています。相手が分かるようにどう伝えたらいいか難しさもありますが、言葉だけでなくやり方を見せるなど教える側もよく考えて友達ができるまで根気よく教えてくれています。あやとりをきっかけに友達と一緒にできるようになったことを喜ぶ姿が増えてきました。

